

## 第22期 事業報告書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

法人の名称 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

はじめに、新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けた1年だった。4月は、緊急事態宣言下から始まり、2021年1月には2回目の発出となった。これまで法人の活動の中でとても大切にしてきた季節のイベントが中止、または縮小となり、子ども達にとってもご家族にとっても残念だった。その中でも事業所ごとに感染対策を取りながら工夫をして、開催出来たイベントもある。今年度も法人のテーマである「おもしろい子(個)を育てる」を念頭に、それぞれの事業に取り組んだが、こんな時だからこそ、みんなで深刻にならず真剣に楽しいことを考えた年だった。

### 1 事業の成果

コロナ禍における様々な制約の中、それぞれの事業にかかわるスタッフの工夫と努力により、少しでも多くのこども・若者たちやその家族が、孤独に陥らず、孤立せず、不安や不満を誰かに相談できる場所・人として機能するよう努めた。特に「不登校支援」「家族支援」は、今年度も重要なテーマとして取り組んだ。4月の始めの1回目の緊急事態宣言では、休校となる学校がほとんどで、ますます行き場を失い、不登校から完全ひきこもりで家族以外と会う機会を失う子どもたちや不安の強さから外出そのものを避けるこども・若者達もいた。放課後ドラマぼによ+は、通勤をしなくては行けない保護者のために休むことなくオープンしてきた。6月には、子どもたちの「孤食」を防ぐため、「子ども食堂」を始めた。法人として、K2グループ全体の資源につなげられる強みを生かし、子どもたちが美味しいご飯を食べられるだけではなく、必要な人や場に「つなぐ、つなげる、つながる」を意識した他事業との連携、近隣の小中学校との連携にも努めた。また、寄り添い型生活・学習支援事業のいろは塾では、受験生に対しての「受験応援弁当」の配達なども行い、見えないところで誰かとつながっていることを知ってもらうこと、恩送りを伝えて、支援される側が支援する側になることの大切さを伝え、受験合格後の生徒が継続して子ども食堂のサポーターとしてかかわっている。また、コロナ禍で集まることが制限される中、「離れてつながる」を実践し、リモートでの保護者会やセミナー、プログラムなどを急速に取り入れた。集まった時より、個々の顔が良く見え、これまでよりも近く感じる事が出来た、またメンバーにとっては外に出ずに人と会えることなど成果も見られた。

### 2 事業内容

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

##### (1) こども・若者とその保護者などに対する相談・支援

###### ①不登校支援

- ・日常的に不登校の電話相談やメール相談の対応を行った。
- ・寄せられた相談について法人内のプログラムや他の支援への丁寧なつなぎや対応を行った。
- ・神奈川県教育委員会の委託事業、磯子区ふれあい助成金などを受け、学齢期の支援に取り組むことができた。
- ・横浜市教育委員会や地域の学校との連携を深め、義務教育の間に支援につなげることを意識して取り組み、特に中学校からつながるケースが増えてきた。  
イソカツ・カナカツ・いろは塾、また、6月から始まった子ども食堂が不登校の子ども達の居場所、受け皿として機能していた。

日時	月～金 9:00～18:00
場所	横浜市磯子区東町9-9 3階
主な従事者人員	2名
対象者	青少年および保護者、関係者

## ②よこはま南部ユースプラザ

- ・相談窓口（電話、インターネット、来所）を開設し、困難を抱える若者やその保護者の第一的な総合相談を受ける相談室の運営を実施。若者や家族、関係機関からさまざまな相談が寄せられるため、K2グループの中核の相談窓口として重要な役割を果たしていた。
- ・ひきこもり状態からの回復期にある若者の居場所の運営。
- ・よこはま南部ユースプラザとしても活動の年間テーマを今年度は、「**家族支援**」とした。**支援者対象のなんぷら主催の連絡会**では、本人だけでなく、家族もまた悩み苦しむ孤立するケースが多い中、家族がまず、支援者につながることで問題を長期化させないために必要であり、どんな地域資源があり、活用できるのかを共有することを目的とした。各区で年に1回行うセミナーにおいても同テーマで、当事者の家族を対象に家族の方が支援者につながる事の大切さを知っていただいた。
- ・南部地域の**区役所専門相談**で区のこども家庭支援課、生活支援課との連携を行った。磯子区役所では、なんぷらの若者たちに**社会体験の機会**を与えてもらい、会議場の設営や資料の準備などの他に、「**いそごのまち美化パートナー制度**」に登録し、地域清掃のボランティアを行った。根岸地区センターの図書ボランティアや、磯子区社会福祉協議会、磯子地域ケアプラザと連携し、地域の社会体験の場所が増えた。
- ・**近隣の小中学校からケースカンファの依頼が多くあった1年だった**。実際中学生の登録も増えた。
- ・コロナ禍により、緊急事態宣言が発令され、その後も新型コロナ感染対策などこれまでにない対応を迫られる1年となった。**4月、5月は休館となり、メンバーの来所はなかったが、電話相談、メール相談の対応などを行った。新しい取り組みとしてオンライン面談やオンライン講座を始めた。**すでにつながっているメンバーだけでなく生きづらさを抱える若者とその家族が、安心して離れてもつながることができ、社会参加に向けて一歩が踏み出せるようなサポートを心掛けた。

講座：ボイストレーニング・PCセミナー・スポーツデー・スタートアッププログラム・コミュニケーション講座・無電源系ゲーム・なんぷらアフタヌーンティー・ZOOM講座・ちがいを楽しむかんたんアート・健康管理について・自分取り扱い講座（10代限定）・映像制作ワークショップ・UVレジン・横浜美術館プログラム・wii 大会・知って得する保険の話・特別講座「働く」とは？・大人の塗り絵・羊毛フェルト・映画観賞会・福祉サービススタディツアー・折り紙講座・クラフト講座

クラブ活動：ゲームクラブ・イラストクラブ・ボランティア

- ・ボランティア体験・社会体験・就労体験のプログラムの実施。
- ・横浜市南部地域5区の関係機関、区役所との連携及びネットワークづくり  
年間テーマ「家族支援」

\***南部地域若者支援連絡会**（年2回）：2020年11月16日（月）30団体45名  
2021年2月17日（水）ZOOM開催 25団体31名  
書面開催 63団体72名

\***4 ユースプラザ合同連絡調整会議**：隔月に1回参加（偶数月の第3月曜日）

\***三機関連絡会**：年に2回参加

\***なんぷら保護者交流会**：毎月第4土曜日開催 年間参加者延べ83名

- ・区役所における引きこもり等の専門相談、セミナー&相談会

\***専門相談** 港南区13件、磯子区7件、金沢区15件、戸塚区12件、栄区4件

\***区役所セミナー&相談会**：

10月30日（金） 港南区 来場者 16名

11月18日（水） 戸塚区 来場者 8名

11月26日（木） 金沢区 来場者16名

12月2日(水) 磯子区 来場者12名

12月16日(水) 栄区 来場者12名

開所時間	月曜日～金曜日 11:00～19:00 (居場所・相談室)
	土曜日 11:00～19:00 (相談室のみ)
場 所	横浜市磯子区磯子3-4-23 浜田ビル2階
主な従事者人員	9名
対象者	横浜市内にお住まいのおおむね15歳～40歳未満の若者およびその家族
開所日数	282日
来所者数	のべ4,760名
相談実績	面接相談 のべ598件・電話相談 のべ 869件・ インターネット相談 のべ541件 社会/就労体験事業参加者 のべ 2,653名

### ③金沢区寄り添い型生活・学習支援事業(横浜いろは塾)

- ・金沢区内の生活困窮や保護者が精神疾患を有している等の理由により、養育環境に課題がある家庭に育つ小学生・中学生・高校生に対して、学習支援・生活支援・総合的な支援を実施。
- ・今年度より、新たに高校生世代支援事業が始まった。高校に行っていない子も対象に加わり、進路選択につながる内容、将来の自立につながる内容の講座や、リラックスして過ごしたり、タブレットの活用等を学べる居場所を実施。
- ・対象は生活保護を受けている家庭の子どもに加え、昨年度に引き続き児童扶養手当満額支給世帯などへ拡大募集を行い、今年度も学習支援のみ利用する生徒が大幅に増えた。そのため、金沢区生活支援課・子ども家庭支援課と連携しながら、見学対応や生徒の受け入れのための情報共有を行い、必要であればケースカンファも実施しながら一人一人に丁寧な支援を行った。
- ・富岡東地域ケアプラザで「出張いろは塾」を開催。毎週火曜日に学習支援を行った。
- ・中学3年生には「神奈川県全県模試」が受けられる模試サポートを8月と12月の2回開催した。各会場で模試を受験後、結果を確認しながら個別進路面談等も行った。
- ・今年度より中学2年生対象の「神奈川県全県模試」が受けられる模試サポートを12月の1回開催した。中学3年生同様、会場で模試を受験後、結果を確認しながら個別進路面談等も行った。
- ・登録している中学3年生は全員高校進学が決まった。また、不登校でサポートしていた生徒も希望する高校へ合格し、進学することが出来た。
- ・中学時代に不登校でサポートしていた高校生も2年生へ進級し、定期的なメンタル・学習サポートを行い、1年間通してほとんど遅刻欠席なく通うことができ、3年生に進級できた。他にも、高校へ進学はできたが、友人関係や学習面で悩んだり、つまづく生徒も多く、高校受験に合格した後も、個々のニーズに合わせ、途切れなくサポートをおこなっている。
- ・4月～5月の2か月間、コロナウィルス感染症拡大防止でいろは塾の閉所が続いた為、**定期的に保護者へ連絡し状況確認等**を行った。また、生徒本人宛へ手紙やはがきでのサポートも行った。保護者からは、臨時休校中の過ごし方や学習の遅れを心配する声、また、休校前から不安があったこと等も含め、様々な相談が入るようになり、区役所と連携しながら保護者へ寄り添いつつ、場合によっては臨時で受け入れをする等のサポートを行った。生徒からは、学校の宿題がわからない等の相談が入った為、電話や手紙で出来る限りのサポートを行った。

- ・金沢区寄り添い型事業定例会議(全3回)

2020年7月30日、10月8日、2021年1月28日(書面開催)

- ・利用者連絡会(ケースカンファレンス/区・いろは塾)全2回

2020年10月28日、2021年3月25日

・個別ケースカンファレンス（学校・区・いろは塾） 全1回

2020年2月12日

場所 横浜市金沢区洲崎町2-6 5階  
日時 火・水・金 13:00～20:00  
木曜日 13:00～18:00  
土曜日 11:00～18:00

（出張いろは塾 富岡東地域ケアプラザ 火曜日 18:00～20:00）

主な従事者人員 5名  
対象者 養育環境に課題があり、支援を必要とする  
小学生・中学生・高校生およびその保護者  
開所日数 202日（2020年6月～2021年3月）  
登録者数 74名  
参加人数 のべ 1,973 名

\*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～5月の2か月間、閉所。  
その間、特別な事情のある家庭の子どもについて、臨時で受け入れをおこなった。  
4月参加人数：のべ10名、5月参加人数：のべ5名

#### ④小・中学生・高校生のメンタルサポート事業（WAM助成）

- ・不登校や学校生活等に悩む子どもと個別級に在籍する子などのメンタルサポート事業（面談・個別プログラム・グループワーク）を実施。
- ・10月31日（土）に不登校や学校生活等に悩む子どもをもつ保護者を対象にセミナーを開催。終了後に個別面談の時間を設けた。
- ・保護者の面談や交流会を実施し、悩んでいる保護者が孤立しないようにサポートを行った。
- ・講師を招き、スタッフの育成研修を実施。放課後児童デイや児童精神科への見学・研修も行うことができ、本事業を通して新しい連携先を増やすことができた。

場所 横浜市磯子区東町9-9  
日時 本人へのメンタルサポート 水・金 10:00～18:00 他  
主な従事者人員 3名  
対象者 不登校や学校生活等で悩む子どもと保護者、その他

#### ⑤キャッシュフローワーク助成金事業 よこはま型若者ニューディール

- ・休眠預金を活用した「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」を受け、新型コロナの影響を受け、仕事を失ったり、収入が減ってしまった方に対して、**配達やECサイトの運営などの就労の場を提供**し、継続的に自立へのトータルサポートを行っている。
- ・一人ひとりの力を発揮できるような環境づくりやきめ細やかなサポートに努めた。

日時 月～金 9:00～18:00（電話相談・メール相談・個別面談） 他  
場所 横浜市磯子区東町9-9 3階  
主な従事者人員 2名  
対象者 新型コロナの影響を受け、仕事を失ったり、収入が減ってしまった方  
参加人数 6名

## (2) 経済的困窮を含めた家庭環境などに課題があり、社会的に困難な状況に置かれた こども・若者の支援

### ①子ども食堂「250にこまる+プラス」

- ・コロナ禍で見えない貧困や環境の変化などに「子ども食堂」という切り口で、3つの「孤」（孤食、孤独、孤立）の解消を目指し、毎週金曜日に会食とフードパントリーと形で実施した。
- ・最初に登録をしてもらい、専門の相談スタッフが話を聞くことで、一人一人の状況をしっかりと理解をして、保護者や学校との連携も取れるようにした。
- ・一時的な支援ではなく、K2グループ全体の資源や地域の支援機関につないでいくこと、彼らが支援する側から支援される側になる機会にもつなげていきたいと考えている。
- ・活動を応援してくださる方からの寄付金に支えられ、またフードバンクなどから食材の寄付をいただき、子ども達に還元することができた。
- ・横浜市市民公益活動緊急支援助成金、NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ助成金（第3回・第4回）、公益財団法人アイネット地域振興財団助成金、一般財団法人全国食支援活動協会助成金、神奈川県子ども食堂応援基金協力金を受けることができた。

日時	毎週金曜日 17:00～19:00（相談 15:00～）全40回
場所	にこまる食堂（横浜市磯子区東町9番9号）
主な従事者人員	2名
対象者	小学生・中学生・高校生世代

## (3) こども・若者の自立に関する情報提供

### ①団体の活動の情報発信

- ・ホームページやブログの定期的な更新作業を行い、より新しい情報の掲載に努めた。
- ・団体の活動内容を広く知ってもらうため、年2回KIAORAを発行する。KIAORAはホームページでも閲覧できるようにした。また、地域の各活動場所や連携先にも配布、設置を依頼し、活動に興味を持った方に手に取ってもらえるようにした。

日時	ホームページの更新は随時 KIAORAの発行 2020年9月・2021年3月
場所	コロンブスアカデミー事務局
主な従事者人員	2名
対象者	不登校、ひきこもり状態にある青少年とその家族、 地域の関係機関・関係団体など

## (4) 地域で子育てを支える場の提供・運営

### ①親と子のつどいの広場事業 子育てスポットくすくす

- ・横浜市補助事業として、乳幼児親子が気軽に集える居場所を提供。
- ・親の日常的な悩みや不安を和らげる場、共に育ち合える場として運営をおこなった。
- ・横浜市の新型コロナウイルス感染拡大防止の補助金を使い、大型の空気清浄機や非接触型検温・消毒器、加湿器などを購入し、定期的な換気も行いながら環境整備にも力を入れた。
- ・感染予防対策を行いながら、8月からはイベントも再開し、広場に来やすい環境作りも心掛けた。補助金を活用し、パソコンなどオンライン環境も整え、1月からは自宅にいてもひろばと繋がれるように、お話をオンライン（zoom）でも参加できるようにした。
- ・親のリフレッシュや用事、きょうだい児の行事、仕事の際に利用できる一時預かりを引き続き実施。新型コロナウイルスの影響で4月～7月の利用はなかったが、8月からは継続して利用する方や仕事復帰に向けての勉強や準備のために預ける方もいた。子どもを預かるだけでなく、子どもの成長や家庭内の悩みについて相談できる場にもなっていた。
- ・参加する親子が参加者としてだけでなく、当事者として運営を支える、ママサポー

- ター、ママボランティアとして活躍していた。
- ・活動の様子や今後の予定をホームページ・ブログ・SNS から情報発信を行った。休館中は、スタッフやママボランティアのおうち時間の様子もブログにアップした。
- ・**幼稚園・保育園座談会**を年2回行い、情報収集ができる場の提供を行った。磯子区と中区の保育・教育コンシェルジュの方にも来ていただいた。
- ・磯子区内では、子育て支援拠点と各広場との「いそごひろば連絡会」を定期的に開催し、主にコロナ禍での子育て支援について情報交換を行い、必要な支援を利用者へ紹介できるように、情報提供や情報収集も行った。3月の連絡会は、**zoom**での開催となったが、離れていても情報共有や意見交換ができた。
- ・同じフロアのぽによ+の小学生が乳幼児の面倒を見たり、広場内での少人数のイベントだったが、夏にはぽによ+の小学生が縁日の店員を担当し、遊びに来ていた親子との交流も持てた。小学生の姿を見て、乳幼児をもつ保護者が子どもの成長を思い描くことができ、ぽによ+との交流が保護者自身の学びや発見の場になっていた。
- ・**要保護児童対策地域協議会**（地区別関係機関会議）に今年度も参加。年1回の開催だったが、関係機関とロールプレイや地域での連携の大切さを学ぶことができた。
- ・地域で気になる親子については、区の保健師とも情報共有など連携を行った。

主な従事者人数 4名

開所日数 179日（4月1日～6月7日まで広場は中止・一時預かりのみ対応）

来所者数 1,185組2,899名（一日平均6.6組16.2名）

一時預かり利用数 77件 計247時間（月平均6.4件 20.6時間）

連絡会 いそごひろば連絡会 全3回 2020年8月4日（火）・11月10日（火）

2021年3月12日（金）※zoom開催

根岸・滝頭・岡村地区子育て支援連絡会 2020年11月17日（火）

Bブロック会議 全3回 2020年6月22日（月）・11月12日（木）

2021年2月18日（木）

広場全体連絡会 全2回 2020年8月26日（水）・2021年3月1日（月）

一時預かり情報交換会 2020年12月3日（木）

要保護児童対策地域協議会（地区別関係機関会議） 2020年7月15日（水）

## ②プレ教室ぽっかぽか

- ・就園前の2～3歳児のこども対象のプログラムを実施。スムーズに幼稚園や保育園に移行できることを目的に、「こどもだけで活動する経験」や「家庭ではできない体験」を意識して、プログラムを構成し、事業を進めていった。
- ・新型コロナウイルスの影響で、予定が変更となり、6月からのスタートだったが、感染予防対策を行いながら全30回行うことができた。
- ・保護者同士がプログラム終了後も助け合える関係作りを目指して、交流の場を作った。
- ・今年度は、2回の保護者座談会、自宅から参加のzoomでのオンライン交流会やオンラインぽっかぽかも実施した。保護者同士のつながりを強め、子育ての不安に寄り添い、トイレトレーニングや友達との関係など、具体的な悩みについて話し合う場にもなっていた。また、ぽっかぽかでの普段の活動の様子も動画や写真で伝え、子どもたち同士の関わりや成長を見てもらうことができた。

法人の活動（乳幼児～青年期の途切れのない支援）についても話して、子どもに必要な環境を作ってあげること、保護者が一人で抱え込まないことの重要性も伝えた。

- ・発達の気になる子には、子どものサポートだけではなく、様子を毎回伝えたり、母親の不安を聞くなど保護者のサポートを丁寧におこなった。また、必要に応じて、区やかかりつけ医への相談を促したり、保健師との情報共有も行った。

- ・保護者からは、幼稚園就園に向けて情報を得られたこと、スタッフや保護者との関係が深まったこと、親から離れて同年齢の子ども達同士で楽しむ経験ができたこと、親同士で話をすることでストレス発散ができたことなど、参加してよかったという感想が多く聞かれた。今年度も以前、上の子がぽっかぽかに参加した家庭の下のきょうだい児が参加するケースがあった。

主な従事者人数	3名
登録人数	12名
実施回数	30回
参加人数（実績）のべ	307名

## （5）地域の子どもの居場所の提供・運営

### ①金沢区青少年地域活動拠点 カナカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、1階フリースペース部分では駄菓子販売を行い、子ども達が居心地良く過ごせる場を提供した。感染対策をしながら少人数ずつで、ものづくり講座・カナカツイベントへの参加の促しもを行い、体験の場の入り口としても機能した。
- ・フリースペースに来所する子ども達も一緒にイベントの準備をし、当日の運営も行った。青少年交流ステーションかなざわの入居団体が協力、共に地域の子どもの達を見守る体制を整えることができた。
- ・保護者対象の思春期セミナー（参加者28名）をオンラインで開催。講師に岩室紳也氏をお招きし、「思春期のこころと性」をテーマにお話しいただいた。
- ・社会参加プログラム「夏・秋のボランティア体験（中高生のべ18名）」「第5回カナカツ美術展（参加者174名）」では近隣の中高生が多く参加してくれた。どちらも感染対策をしながら例年とは違った形での開催となった。
- ・イベントでは秋まつり（参加者81名）において、交際交流ラウンジと連携し、協同企画を行うことができた。感染対策のため、展示期間を長く設置して少人数ずつ鑑賞できるよう実施した。
- ・新型コロナウイルスの影響で例年参加している地域のイベントが中止となる等した為、小学生から高校生まで広い世代が安心して利用できるよう、感染対策をしながら少人数制で、スポーツデイ・オープンデイ・自習室・ものづくりワークショップ等も開催した。
- ・近隣の学校や他団体との連携を積極的に図り、小中校長会・民児協での企画案内・南部地域若者支援連絡会への出席も行った。年度を追うごとに学校関係等地域資源からの連携の体制が得られるようになっていく。

日時	火曜日～金曜日	15:00～20:00
	土曜日	13:00～17:00
場所	横浜市金沢区洲崎町2-6	
主な従事者人員	3名	
対象者	地域の中高生世代	
開所日数	202日	
	(4月～5月まで新型コロナウイルスの感染拡大防止のため閉所)	
利用人数	5,627名（青少年4,468・大人1,159）	
入居団体連絡会	隔月開催 全4回	
	2020年8月20日（木）・10月22日（木）・12月17日（木）	
	2021年2月25日（木）書面開催	

## ②磯子区青少年地域活動拠点 イソカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・フリースペースでは居心地のよい空間でそれぞれの過ごし方をする姿が見られた。また、地域の方をボランティア、講師に招き、フリースペースでものづくり講座などのコーナーを設け、子どもたちと交流しながらイベントを開催した。
- ・イソカツ運営委員会(中高生世代メンバー主体の会)では、縁日開催に向けて準備・運営や、1月に開催した**第3回イソカツ美術展**の準備を行った。(78名参加)
- ・新型コロナの影響で、磯子まつり(区民まつり)やいそごこどもまつりが、中止だったため、イソカツを会場に、地域の人を対象に「イソカツオープンデイ」としてイソカツを開放した。(全5回、来場者71名)  
小さな子どもたちも来てくれたので、イソカツメンバーは縁日の店員となったり、小さなイベントをおこなうなど、迎え入れる側となって活躍していた。(21名参加)
- ・夏休みや春休み期間中を活用し、中高生のボランティア体験(55名参加)を実施した。子育てスポットくすくす、放課後ドラマぼにょ+での体験では、小さな子達やスタッフとの交流の中で、保育やイベント補助などを体験することができた。  
また、直接、施設での体験ができる場が少なかったため、イソカツで作ったものを届けるボランティアを実施した。子育て広場の装飾づくりやケアプラザから高齢者宅に配達されるお弁当につけるメッセージカードや折り紙を作り、受け取った先の施設からはとても喜ばれていた。
- ・例年は芋ほりの大規模なイベントに参加していたが、今年は中止になってしまったので、6月のかかしコンテストへの出品(2名参加)と10月の収穫体験(3名参加)を個別に実施。
- ・毎年、開催しているイソカツ美術展は、杉田劇場のギャラリーが使用できなかったため、今回は根岸駅前モンビル6階にて開催。(165名来場)  
横浜美術館の協力のもと、共同制作でコラージュに取り組み、協力して作成した作品を当日の看板やオブジェを飾ることができた。美術展の会期中に行う予定だった**横浜美術館の講師によるコラージュワークショップ**は、緊急事態宣言中だったために延期し、解除されてから、3月27日に実施した。(15名参加)
- ・思春期世代の子どもを持つ保護者や地域の支援者を対象に**イソカツ思春期セミナー**は、当初の予定を延期し、2月にオンラインで開催。講師の宮崎豊久氏に「思春期を取り巻くSNS」をテーマにお話していただき、参加した保護者から大好評だった。(24名参加)
- ・近隣の学校に訪問、校長会や専任会、青少年指導員、民児協ではイベントの周知や報告を定期的に行うことができた。また、地域の関係団体との連携を積極的に図り、磯子区館長連絡会、南部地域若者支援連絡会等にも参加。

日時 火曜日・木曜日 15:00~20:00

土曜日 13:00~18:00

場所 横浜市磯子区磯子 3丁目 4番地 23号浜田ビル 2階

主な従事者人員 3名

対象者 地域の中高校生世代、地域の人たち

開所日数 124日(フリースペース開所・活動日)

(4月から5月末まで新型コロナウイルスの感染拡大防止のため閉所)

参加者 青少年計 2,295人(全体 2,601人)

## (6) 放課後児童健全育成のための学童保育の運営

### ①放課後ドラマ ぼにょ+

- ・自主事業として「おもしろい子(個)を育てる」をテーマに、安全確保を目的とした子どもの預かり所ではなく、子ども達が多様な経験、多様な関わりの中で生き抜くための心の免疫力を育むことができるような場を目指して、運営をおこなっ

- た。
- ・定期利用の他、一時保育や日曜・祝日・宿泊対応、年中児・年長児の預かり等、多様なニーズに応えることで、保護者も子どもも安心して利用できる環境づくりに努めた
  - ・手作りの昼食・夕食・おやつを提供。毎日の食事を通して、準備や片付けの役割や仲間と食卓を囲むことの大切さを伝えている。
  - ・4月は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため、小学校が休校となり、早朝から子ども達の保育をおこなった。ぽによの活動拠点だけでなく、モンビルM6のスペースを活用し、密集を避けるための工夫を継続しておこなった。感染予防の対策だけでなく、保護者から不安が寄せられていた学習面についても、学習の時間を確保し、PCを使用しているオンライン学習などにも取り組み、内容も充実させるように努めたため、多くの保護者から安堵と感謝の声が寄せられた。
  - ・K2インターナショナルグループの看護師と協力し、子どもたちが楽しみながら手洗いやマスクの着用を継続できる仕掛けとして、「マスクシールチャレンジ」を実施し、特に低学年の子どもたちにとって非常に大きな成果があった。
  - ・大勢が集まる夏祭りや宿泊のあるキャンプなどは実施はせず、コロナ禍でも実施できる新しいイベントとして、『工作Youtuber体験』や『ガールズカフェ』などを実施した。また、新しい生活スタイルを意識して、イベントの様子は動画で撮影して、自宅で親子で視聴できるようにしたため、保護者からは好評を博した。
  - ・ピアノ教室、英会話教室、卓球クラブ、プログラミング教室の4つのぽによ塾でも感染対策は強化し、教室はすべて広い場所に移し、講師の方々とともに協力して、子どもたちの距離を取り、換気・消毒などに対応した。  
発表会は、中止にはせず、楽しみにしている親子のために、動画形式や人数制限をした上でzoom配信するなど工夫して開催した。
  - ・保護者との面談はzoomを活用し、感染状況が落ち着いた時期でも希望者はオンラインで対応できるようにした。
  - ・保護者会も同様にzoomでのオンライン会議形式に変更し、時間帯を3部に分け、動画視聴をしてもらう時間、保護者に話をしてもらう時間、事務連絡をする時間を設けた。対象保護者を分けて実施をしたところ、これまで参加率の低かった6年生の保護者や退会する予定の保護者などが多く参加してくれていた。オンラインで気軽に参加できる人が多かった一方で、保護者同士や保護者とスタッフとの関係作りが不十分な面があったので、今後の課題として次年度はさらに工夫して取り組んでいきたいと考えている。
  - ・新型コロナの影響から在宅ワークの保護者が増えたこともあり、前年度に比べて、登所人数が2～3割減少し、次年度の入会者も例年の半分（11組）と少なくなっている。ぽによ+を必要としている家庭は減っていないと感じているので、より通いやすい形になるように対策を講じていきたい。

日時	終日（必要に応じて対応）
場所	横浜市磯子区東町9-9 2階、他
主な従事者人員	5名
対象者	横浜市内の年中児～小学生
開所日数	292日
登録人数	94名
登所人数	のべ9,814名
ぽによ塾	ピアノ 登録13名・のべ871名（67回実施） 英会話 登録26名・のべ3,484名（134回実施） 卓球 登録16名1,382名（92回実施） ロボット・プログラミング登録12名 816名（68回実施）

登録児童の所属小学校、中学校

根岸小 63 名・間門小 9 名・杉田小 4 名・浜小 2 名  
森東小 4 名・国大附属小 2 名・滝頭小 4 名・岡村小 1 名  
山王台小 2 名・磯子小 2 名・森東中 1 名

## (7) その他 上記事業に関連する諸事業

### ①20 周年記念誌の作成

- ・磯子区社会福祉協議会団体助成金を受けて、20 周年の節目にこれまでの歩みなどを記念誌にまとめ、関係機関・関係団体に配布をおこなった。
- ・この 10 年くらいで知り合った団体も多く、設立当初の思いやこれまでの流れを知っていただくいい機会となった。

日時	2020 年 4 月～9 月
場所	コロンブスアカデミー事務局
主な従事者	2 名
対象者	関係団体、地域の方
作成部数	1,000 部

## <2020 年度 主な行事> ※大きな行事や行政との連携を中心に記載。

4 月 1 日 (水) K2 春のスタートデー (入社式・ぽによ+入会式)

※4 月～5 月末まで緊急事態宣言のため、子育てスポットくすくす・プレ教室ぽっかぽか  
磯子区青少年の地域活動拠点イソカツ、金沢区青少年の地域活動拠点カナカツは閉所。  
よこはま南部ユースプラザは、閉所し、電話・メール・オンライン相談は継続。  
金沢区寄り添い型生活・学習支援事業いろは塾は、生活支援の必要な子のみ対象として支援を継続。  
6 月から感染予防対策をしながら、徐々に再開した。

- 6 月 10 日 (水) 磯子区館長連絡会 参加
- 6 月 15 日 (月) 横浜市教育委員会 不登校支援コーディネーター 来所・見学
- 6 月 18 日 (木) 南部学校教育事務所 来所・見学
- 6 月 19 日 (金) 寄り添い型生活支援事業 連絡会 (zoom) 参加
- 6 月 22 日 (月) つどいの広場 B ブロック会議 参加
- 6 月 27 日 (土) なんぶら保護者交流会
- 7 月 13 日 (月) 磯子区 N P O 連絡会 参加
- 7 月 15 日 (水) 要保護児童対策地域協議会実務者会議 (地区別) 参加
- 7 月 16 日 (木) はっちネット (磯子区障害児・者地域支援ネットワーク連絡会) 参加
- 7 月 25 日 (土) なんぶら保護者交流会
- 7 月 30 日 (木) いろは塾 金沢区との定例会議  
磯子区館長連絡会 参加
- 8 月 13 日 (木) なんぶら経理ヒアリング
- 8 月 20 日 (木) カナカツ入居団体連絡会
- 8 月 21 日 (金) はっちネット 磯子区専任会 参加
- 8 月 22 日 (土) なんぶら保護者交流会

- 8月26日(水) 親と子のつどいの広場全体連絡会@市庁舎
- 9月8日(火) 磯子区NPO連絡会 参加
- 9月10日(木) なんぷら相談業務ヒアリング
- 9月11日(金) 金沢区民児協研修会 講師(渡辺)
- 9月23日(水) 横浜市教育委員会 不登校理解研修 参加
- 9月24日(木) はっちネット 参加
- 9月26日(土) なんぷら保護者交流会
- 10月2日(金) 青少年の地域活動拠点WG 参加
- 10月8日(木) いろは塾 金沢区との定例会議
- 10月9日(金) キャッシュフォローワーク事業 全体研修
- 10月12日(月) つづきMYプラザ 思春期セミナー 講師
- 10月14日(水) 磯子区館長連絡会 参加
- 10月15日(木) 磯子区こども食堂連絡会 参加  
横浜市教育委員会連絡会 参加
- 10月29日(木) いろは塾利用者連絡会
- 10月30日(金) 港南区 ひきこもり等の若者支援セミナー・相談会
- 10月31日(土) WAM助成事業 10代の保護者対象セミナー(講師:金森克雄氏)
- 11月5日(木) 横浜市子どもの貧困対策に関する計画推進会議 委員として参加(渡辺)
- 11月10日(火) 磯子ひろば連絡会 参加
- 11月12日(木) つどいBブロック会議 参加
- 11月16日(月) 南部地域若者支援連絡会
- 11月17日(火) プレ教室ぽっかぽか入会説明会  
地区別子育て支援連絡会 参加
- 11月18日(水) よこはま南部ユースプラザ監査  
戸塚区 ひきこもり等の若者支援セミナー・相談会
- 11月19日(木) はっちネット 参加
- 11月20日(金) よこはま南部ユースプラザ監査
- 11月21日(土) ぽにょ+オンライン保護者会
- 11月26日(木) 青少年の地域活動拠点WG 参加  
金沢区 ひきこもり等の若者支援セミナー・相談会
- 11月28日(土) ぽにょ+入会説明会  
なんぷら保護者交流会
- 12月2日(水) 磯子区 ひきこもり等の若者支援セミナー・相談会  
親と子のつどいの広場一時預かり情報交換会 参加
- 12月7日(月) スタッフ研修 そだちの森・クリニックおおた 訪問・見学  
根岸中学校 訪問
- 12月9日(水) 汐見台中学校 訪問
- 12月8日(火) ~12日(土) 第5回カナカツ美術展 開催
- 12月14日(月) 戸塚区セーフティネット会議 参加
- 12月15日(火) 港南区社会福祉協議会 研修会 講師(渡辺)
- 12月16日(水) 栄区 ひきこもり等の若者支援セミナー・相談会
- 12月17日(木) カナカツ入居団体連絡会
- 12月21日(月) 4YP連絡会 参加
- 12月23日(水) ぽっかぽか座談会(zoom)
- 12月24日(木) よこはまNPO労務セミナー 講師(渡辺・岩本)
- 12月26日(土) なんぷら保護者交流会
- 12月28日(月) 臨時総会 開催

## 2021年

- 1月20日(水) 要対協地区別関係機関会議 参加
- 1月23日(土) なんぷら保護者交流会
- 1月19日(火) ~23日(土) イソカツ美術展@M6
- 1月28日(木) 青少年の地域活動拠点WG (zoom) 参加
- 2月17日(水) 南部地域若者支援連絡会 (zoom) 開催
- 2月18日(木) つどいBブロック会議 参加
- 2月20日(土) イソカツ思春期セミナー (zoom) 開催  
ぽによ+オンライン説明会
- 2月24日(水) いろは塾 金沢区との定例会議  
イソカツ次年度計画ヒアリング
- 2月25日(木) カナカツ次年度計画ヒアリング
- 2月27日(土) カナカツ思春期セミナー (zoom) 開催
- 3月1日(月) 親と子のつどいの広場全体連絡会
- 3月5日(金) キラキラぽによパーティー
- 3月9日(火) なんぷら経理ヒアリング
- 3月11日(木) ぽっかぽか修了式
- 3月12日(金) いそごひろば連絡会 (zoom) 参加
- 3月15日(月) 三機関連絡会 参加
- 3月18日(木) 青少年の地域活動拠点 WG 参加
- 3月24日(水) 青少年の地域活動拠点 活動報告会
- 3月25日(木) いろは塾 利用者連絡会
- 3月26日(金) 出張子ども食堂 磯子 お弁当 DAY
- 3月27日(土) イソカツワークショップ (横浜美術館 講師)  
なんぷら保護者交流会

## <2020年度 助成実績>

- \*横浜市地域ユースプラザ事業 (よこはま南部ユースプラザ)
- \*横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 金沢区青少年の地域活動拠点 (カナカツ)
- \*横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 磯子区青少年の地域活動拠点 (イソカツ)
- \*金沢区寄り添い型生活・学習支援事業 (横浜いろは塾)
- \*横浜市補助事業 親と子のつどいの広場 (子育てスポットくすくす)
- \*神奈川県教育委員会 子どもの居場所づくり推進委託事業
- \*福祉医療機構社会福祉振興助成事業 (WAM)
- \*キッズドア基金「2020 コロナウイルスに負けるな！」助成事業
- \*若者おうえん基金新型コロナ緊急助成金
- \*チャリティスマイル緊急助成金
- \*磯子区ふれあい助成金・磯子区社会福祉協議会団体助成金
- \*むすびえ・こども食堂基金 第3回助成金事業
- \*むすびえ・こども食堂基金 第4回助成金事業
- \*市民公益活動緊急支援助成金
- \*公益財団法人アイネット地域福祉財団 2020年度助成金
- \*一般社団法人全国食支援活動協力会 助成金
- \*神奈川県子ども食堂応援基金協力金
- \*新型コロナウイルス対応緊急支援助成 地域課題の解決を目指した中間的就労支援事業  
~キャッシュフローワーク手法による若者支援~